



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月28日

上場会社名 マクニカホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3132 URL <https://holdings.macnica.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）原 一将
 問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）大河原 誠（TEL）045-470-8980
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	281,613	9.9	8,198	△32.0	5,082	△57.5	5,091	△36.6
2025年3月期第1四半期	256,330	△8.0	12,047	△41.7	11,947	△39.1	8,030	△40.9

(注) 包括利益2026年3月期第1四半期 4,465百万円(△72.6%) 2025年3月期第1四半期 16,310百万円(△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 28.54	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	44.63	—

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算出しております。なお、「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については潜在株式が存在しないため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第1四半期	百万円 548,514	百万円 259,697	% 45.7
2025年3月期	556,438	261,477	45.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 250,618百万円 2025年3月期 252,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 105.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2025年3月期における第2四半期末の1株当たり配当金は35.00円、年間配当金は70.00円になります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	507,500	△2.2	19,200	△14.2	17,500	△17.1	12,300	△19.3	68.94
通期	1,050,000	1.5	42,000	5.9	38,500	3.2	27,000	6.8	151.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	179,072,146株	2025年3月期	179,072,146株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	657,485株	2025年3月期	657,485株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	178,414,661株	2025年3月期1Q	179,954,385株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2025年3月期1Qの「期中平均株式数(四半期累計)」を算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(継続企業の前提に関する注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い企業収益の改善により景気は緩やかに回復しております。世界経済におきましては、米国の政策変更により貿易摩擦の懸念が発生、また為替変動が発生するなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、生成AI向けの設備投資が増加しました。また、車載市場では、市場自体は伸び悩んでいるものの、安全性の向上・自動化に向けた高度な制御システム、脱炭素化に向けたEV（電気自動車）化の動きなど、車1台当たりの半導体搭載量が増加しております。一方、産業機器市場では、FA・工作機械、医療機器、計測機器など幅広い分野において、中国市場の停滞や在庫調整の影響を受け調整局面となりました。

IT産業におきましては、企業のIT投資環境は引き続き良好となっております。セキュリティに関しては、ランサムウェアやサプライチェーンを経由したサイバー攻撃が多発しており、情報の漏えいや業務停止など、甚大な被害を及ぼしていることから、経営課題ととらえる企業が増加しております。また、クラウド活用やリモートワークの定着に伴い、外部接続の増加により対策すべき領域が広がっており、社内システムにおいてもユーザーやデバイスを前提として信頼しないゼロトラストや、情報資産のリスクを可視化・管理するASM（アタック・サーフェス・マネジメント）への関心が高まっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は281,613百万円（前年同四半期比9.9%増）、また日本と台湾で為替変動の影響により売上総利益率が低下し営業利益は8,198百万円（前年同四半期比32.0%減）、同じく為替変動の影響による為替差損により経常利益は5,082百万円（前年同四半期比57.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては5,091百万円（前年同四半期比36.6%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、2026年3月期より「ネットワーク事業」のセグメント名称を「サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業」に名称変更を行いました。本変更は名称変更のみであり、セグメントの区分、範囲、測定方法の変更はありません。

① 集積回路及び電子デバイスその他事業

当事業におきましては、コンピュータ市場では、AIサーバー向けに高性能なサーバーなど国内外で需要が増加しました。車載市場では、市場自体は停滞しているものの当社の営業活動が評価され商流移管が進みました。一方、産業機器市場においては、在庫調整が長引いていることもあり、FA機器や工業用ロボット、半導体製造装置や医療機器など幅広い市場で調整局面となりました。

これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は239,974百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は3,955百万円（前年同四半期比54.5%減）となりました。

② サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業

当事業におきましては、クライアント端末へのセキュリティ対策の重要性認識が浸透し、既に対策ソリューションを導入済みの国内大手企業においてグループ内で対象者を拡大する動きが広がっており、エンドポイントセキュリティ関連商品が堅調に推移しました。また、クラウドサービスの利用拡大やゼロトラストセキュリティの普及を背景に、クラウドセキュリティゲートウェイ関連商品やSASE（Secure Access Service Edge）関連商品が伸長しました。加えて、東南アジア地域を中心とした海外サイバーセキュリティ事業も順調に伸長しております。これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は41,693百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益は4,242百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

(参考) 品目別売上高詳細 (連結)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
集積回路及び電子デバイスその他事業	218,702	239,974	9.7
集積回路	194,495	199,993	2.8
PLD	18,071	27,809	53.9
ASIC	4,127	4,485	8.7
ASSP	26,946	22,166	△17.7
アナログ	58,319	61,134	4.8
メモリ	18,083	12,403	△31.4
マイコン	36,018	37,849	5.1
パワーIC他	32,928	34,143	3.7
電子デバイス	17,270	19,375	12.2
その他	6,936	20,606	197.1
サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業	37,628	41,639	10.7
ハードウェア	3,572	3,889	8.9
ソフトウェア	29,464	31,550	7.1
サービス	4,591	6,199	35.0
合計	256,330	281,613	9.9

(注) 1. 金額はセグメント間の内部売上高または振替高を除いた外部顧客への売上高であります。

2. 2026年3月期第1四半期より、品目別の項目見直しを行い、「その他標準IC」を「マイコン」と「パワーIC他」に分割して掲載しております。これに伴い、2025年3月期についても、遡及修正しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は548,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,923百万円減少となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8,197百万円減少となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が10,727百万円、電子記録債権が8,651百万円、その他の流動資産が980百万円それぞれ増加したものの、商品が29,079百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加となりました。これは主に建物及び構築物（純額）が73百万円、のれんが88百万円、無形固定資産のその他が98百万円それぞれ減少したものの、工具、器具及び備品（純額）が60百万円、投資有価証券が480百万円それぞれ増加したことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5,810百万円減少となりました。これは主にその他の流動負債が6,005百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2,139百万円、短期借入金が7,137百万円、賞与引当金が2,417百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ333百万円減少となりました。これは退職給付に係る負債が54百万円、その他の固定負債が279百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,779百万円減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が409百万円増加したものの、利益剰余金が1,152百万円、繰延ヘッジ損益が115百万円、為替換算調整勘定が936百万円それぞれ減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の48,452百万円に比べ636百万円増加し、49,089百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは16,395百万円増加（前年同四半期は、8,951百万円増加）となりました。これは主に売上債権の増加があったものの、税金等調整前四半期純利益5,178百万円の計上及び棚卸資産の減少があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは513百万円減少（前年同四半期は、941百万円減少）となりました。これは主に貸付けによる支出及び無形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは14,224百万円減少（前年同四半期は、2,041百万円増加）となりました。これは主に短期借入金の純減及び配当金の支払いがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、地政学的環境変化による関税の問題や為替変動、半導体や電子部品の在庫調整の影響があり不透明な状況が続いておりますが、年度後半からの緩やかな市場の回復を期待しております。IT産業におきましては、デジタル技術の活用が広がる中でサイバー攻撃から守るべき情報資産が増加していることから、セキュリティ関連商品が引き続き堅調に推移する見通しです。また、企業の事業活動におけるデータ活用の有効性の認識が広がっていることから、データ分析関連商品が成長すると予想しております。これらの事業環境を踏まえ、2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、2025年5月7日に公表いたしました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております予想数値を据え置いております。修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,530	49,172
受取手形、売掛金及び契約資産	205,967	216,694
電子記録債権	9,215	17,866
商品	234,549	205,469
その他	27,130	28,110
貸倒引当金	△456	△575
流動資産合計	524,936	516,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,444	2,371
工具、器具及び備品（純額）	1,730	1,791
機械装置及び運搬具（純額）	497	475
土地	3,563	3,563
その他（純額）	1,213	1,245
有形固定資産合計	9,450	9,448
無形固定資産		
のれん	579	491
その他	6,318	6,219
無形固定資産合計	6,898	6,711
投資その他の資産		
投資有価証券	7,958	8,439
その他	7,419	7,402
貸倒引当金	△224	△224
投資その他の資産合計	15,153	15,616
固定資産合計	31,502	31,775
資産合計	556,438	548,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,887	145,747
短期借入金	74,728	67,590
未払法人税等	1,984	1,849
賞与引当金	6,123	3,706
役員賞与引当金	41	54
その他	62,297	68,302
流動負債合計	293,061	287,251
固定負債		
退職給付に係る負債	427	373
その他	1,471	1,192
固定負債合計	1,899	1,566
負債合計	294,961	288,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,040	14,040
資本剰余金	30,671	30,671
利益剰余金	182,406	181,253
自己株式	△1,330	△1,330
株主資本合計	225,788	224,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323	732
繰延ヘッジ損益	132	17
為替換算調整勘定	26,169	25,232
その他の包括利益累計額合計	26,625	25,982
非支配株主持分	9,063	9,079
純資産合計	261,477	259,697
負債純資産合計	556,438	548,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	256,330	281,613
売上原価	224,774	253,342
売上総利益	31,556	28,271
販売費及び一般管理費	19,508	20,073
営業利益	12,047	8,198
営業外収益		
受取利息	142	138
受取配当金	52	56
為替差益	35	—
その他	186	256
営業外収益合計	416	451
営業外費用		
支払利息	394	534
持分法による投資損失	4	11
為替差損	—	2,841
債権譲渡損	107	125
その他	10	54
営業外費用合計	517	3,567
経常利益	11,947	5,082
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	—	134
その他	—	6
特別利益合計	7	140
特別損失		
投資有価証券評価損	2	31
ESOP信託終了損	74	—
その他	3	11
特別損失合計	80	43
税金等調整前四半期純利益	11,873	5,178
法人税、住民税及び事業税	3,396	839
法人税等合計	3,396	839
四半期純利益	8,477	4,339
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	446	△752
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,030	5,091

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	8,477	4,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	410
繰延ヘッジ損益	1	△115
為替換算調整勘定	7,906	△151
持分法適用会社に対する持分相当額	36	△17
その他の包括利益合計	7,832	126
四半期包括利益	16,310	4,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,445	4,449
非支配株主に係る四半期包括利益	864	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,873	5,178
減価償却費	911	1,133
受取利息及び受取配当金	△194	△195
支払利息	394	534
持分法による投資損益 (△は益)	4	11
為替差損益 (△は益)	△398	788
投資有価証券売却益	—	△134
投資有価証券評価損	2	31
ESOP信託終了損	74	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,437	△18,916
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,820	29,593
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,621	△2,470
その他	8,597	1,941
小計	17,503	17,498
利息及び配当金の受取額	168	215
利息の支払額	△400	△590
法人税等の支払額	△8,320	△727
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,951	16,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△505	△373
貸付金の回収による収入	418	270
有形固定資産の取得による支出	△350	△254
有形固定資産の売却による収入	9	0
無形固定資産の取得による支出	△307	△340
投資有価証券の取得による支出	△30	△0
投資有価証券の売却による収入	—	247
関係会社株式の取得による支出	△172	—
その他	△2	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△941	△513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,432	△7,917
長期借入金の返済による支出	△148	—
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△7,024	△6,113
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△216	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,041	△14,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,172	△1,020
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,224	636
現金及び現金同等物の期首残高	38,623	48,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,848	49,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	218,702	37,628	256,330	—	256,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5	5	—	5
計	218,702	37,634	256,336	—	256,336
セグメント利益	8,684	3,363	12,047	—	12,047

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,047
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	12,047

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	239,974	41,639	281,613	—	281,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	54	54	—	54
計	239,974	41,693	281,668	—	281,668
セグメント利益	3,955	4,242	8,197	—	8,197

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,197
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	8,198

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「ネットワーク事業」としていた報告セグメントの名称を「サイバーセキュリティ及びその他ITソリューション事業」に変更しております。当該変更は報告セグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後のセグメント名称で記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。